

デジタル版 すいせん図書 第235回 令和5年3月

長野県図書館協会小中学校図書館部会で、県内の小中学校の先生方が何百冊もの本の中から厳選したすいせん図書です。
このすいせん図書は長野県優良図書研究所であっせんしますので、ご利用ください。

★ すいせん図書 その1 ★

小学校低学年(1・2年)向け

書名	著者 出版社 発行年 定価(税込)	内容・書評 ISBN・NDC
いのちがかえっていくところ 	最上 一平(作) 伊藤 秀男(絵) 童心社 2022年10月 1,430円	父と川に向かい魚つりをするたもん。なかなかつれずにあきらめかけた時、イワナがかかりやっとなり上げる。「いのちが手の中にある」食べると言われ胸の中が痛くなるが、一匹の命を丁寧にいただく。命と向き合い命を実感することができる。 9784494015825 ・ 913
しゅくだいドッジボール 	福田 岩緒(作) PHP研究所 2022年6月 1,320円	何をやっても運動が苦手なひろき。何でもできる池田くんがドッジボール大会に出ると言われ、くやくなる。そして池田くんがドッジボールを教えてもらう。努力はうそをつかないことを教えてくれる本。最後は勝つことができ、感動。 9784569880570 ・ 913
化石のよぶ声がかきこえる 天才恐竜ハンター ウェンディ・スロポダ 	ヘレイン・ベッカー(著) サンドラ・デュメイ(絵) 木村 由莉(訳・監修) くもん出版 2022年11月 1,760円	みんなが気づかないすてきなものを見つけることができるウェンディ。遠足でさんごの化石を発見したことで化石探しに夢中になり、「化石のよぶ声がかきこえる人」と呼ばれるようになる。「好き」をつきつめる楽しさを味わうことができる伝記。 9784774333892 ・ 289
ぼくちのおべんとう 	志茂田 景樹(作) 平田 景(絵) 新日本出版社 2022年10月 1,650円	今日は、校外学習の日。いよいよおべんとうの時間になった。今日こそ、新しいおかずであるように願ってあげると、しょうがやきだった。夏休み、おじいちゃん、おばあちゃんの家である作戦をはじめた。それは……。 9784406066860 ・ 913
びんから だしてごらん 	デボラ・マルセロ(作) なかがわ ちひろ(訳) 光村教育図書 2022年9月 1,650円	こわい気持ちをびんに入れて地下室にしまったルウエリン。その後いろいろな気持ちをびんに入れて地下室に押し込むが、地下室がいっぱいになり、気持ちがあふれ出す。ありのままの自分の気持ちを受け入れ、向き合う大切さを感じられる。 9784895722964 ・ 933
つきをなくしたクマくん 	谷口 智則(作) 文溪堂 2022年5月 1,650円	胸の月のもようをなくして探しに行くクマと、ペンダントをなくして探している女の子二人の出会いと、やり取りの様子がかわいい。季節の移り変わりが絵を通じて感じられる。最後に楽しいお店を開く二人。さわやかな読後感の本である。 9784799904718 ・ 913

小学校中学年(3・4年)向け

書名	著者 出版社 発行年 定価(税込)	内容・書評 ISBN・NDC
<p>ヘビくんブランコくん</p> 	<p>おおぎやなぎ ちか(作) 井上 コトリ(絵)</p> <p>アリス館 2022年10月 1,540円</p>	<p>冬眠から目覚めたひねくれ者のヘビは、寝ぼけてブランコにからまってしまいます。ブランコの優しさに触れているうちに、ヘビの心は変化していきました。目に見えない大切なものが散りばめられ、時間がたっても読み返したくなる一冊です。</p> <p>9784752010203 ・ 913</p>
<p>消えた図書室</p> 	<p>西村 友里(作) 大庭 賢哉(絵)</p> <p>学研プラス 2022年7月 1,430円</p>	<p>ひいおばあちゃんの「図書室が消えた」という言葉から、関係があるような、ないような出来事が続き、なぞを解いていくストーリー。最後のひいおばあちゃんのエピソードにほっこりする、ドキドキわくわくの楽しい本です。</p> <p>9784052054976 ・ 913</p>
<p>バスが来ましたよ</p> 	<p>由美村 嬉々(文) 松本 春野(絵)</p> <p>アリス館 2022年6月 1,540円</p>	<p>目が見えない主人公が、不安や困難がある生活の中で、バス停で出会った女の子との温かな関わりが生まれる。それが他の子へも自然とつながり広がっていく、優しい気持ちにあふれた実話です。ぜひ子どもたちに読んでほしいです。</p> <p>9784752010135 ・ 913</p>
<p>願いがかなうふしぎな日記 光平の新たな挑戦</p> 	<p>本田 有明(作)</p> <p>PHP研究所 2022年10月 1,540円</p>	<p>亡くなったおばあちゃんからもらった日記帳。夏休みに続いて冬休みも5年生の光平は様々な目標を書いていく。すると日記に書いた「やりたいこと」が次々に実現していく。しかし、それは光平ができると信じて努力をしているからだ。</p> <p>9784569880792 ・ 913</p>
<p>立てない麒麟の赤ちゃんをすくえ 安佐動物公園の挑戦</p> 	<p>佐藤 真澄(文)</p> <p>静山社 2022年7月 1,540円</p>	<p>広島市の動物園に誕生した麒麟の赤ちゃんのはぐみ。しかし生まれつき足に障害をもち、立つことができない。命を守るため飼育員さんをはじめ、獣医師、大学教授などたくさんの人の手によって支えられていくノンフィクション。</p> <p>9784863896703 ・ 489</p>

小学校高学年(5・6年)向け

書名	著者 出版社 発行年 定価(税込)	内容・書評 ISBN・NDC
<p>空と大地に出会う夏</p> 	<p>濱野 京子(著) しらこ(絵)</p> <p>くもん出版 2022年7月 1,430円</p>	<p>合理的に物事を考え、言葉できちんと説明できない事やムダが嫌いな主人公の理一郎は、将来の目標が持てずにいたが……。自分とは違う友の考え方や行動力にふれ、多様な価値観を受け入れ、前向きに変わっていく少年のひと夏の物語。</p> <p>9784774333793 ・ 913</p>
<p>忘れもの遊園地</p> 	<p>久米 絵美里(作) かわい みな(絵)</p> <p>アリス館 2022年8月 1,540円</p>	<p>忘れたい記憶でできた遊園地の物語。忘れたい記憶がもしあるのなら、この物語を読んでください。記憶は自分だけの物じゃない、ひとつだけの意味じゃない、成長とともに形を変え、未来を作る宝物になることもあるのです。</p> <p>9784752010180 ・ 913</p>
<p>たぶんみんなは知らないこと</p> 	<p>福田 隆浩(著) しんや ゆう子(画)</p> <p>講談社 2022年5月 1,540円</p>	<p>重度の知的障害をもつ小5のすずは自分で話すことができないけれど、きっと心の中ではこんな風に考えているんだね、と思わせてくれる。補足的に大人の連絡帳で説明が入り、無理なく障がいを持つ子への理解と思いやりが深まっていくことができる。</p> <p>9784065270431 ・ 913</p>
<p>救助犬の弟子</p> 	<p>堀 直子(文) 平澤 朋子(絵)</p> <p>新日本出版社 2022年8月 1,650円</p>	<p>動物保護の問題に触れつつ、物語として自然に関心を高めることができる。虐待の疑いのある犬と少女の心の交流と、救助犬として活躍のある可能性を通して、現実として何ができるのか。この本を通して何らかの行動につなげたいと願う。</p> <p>9784406066853 ・ 913</p>
<p>ちいさな宇宙の扉のまへで 続・糸子の体重計</p> 	<p>いとう みく(著) 佐藤真紀子(絵)</p> <p>童心社 2022年5月 1,650円</p>	<p>5人の6年生の今を生きる子どもたち。何度も転校をしている女の子、パレエという夢と現実の生活の中で揺れ動く女の子、お母さんの新しいパートナーへ複雑な思いを抱く男の子……。それぞれの関係を描きながら卒業の日を迎える。</p> <p>9784494020775 ・ 913</p>
<p>秘密の大作戦! フードバンクどろぼうをつかまえろ!</p> 	<p>オンジャリQ.ラウフ(著) 千葉 茂樹(訳) スギヤマ カナヨ(絵)</p> <p>あすなろ書房 2022年6月 1,540円</p>	<p>ご飯を食べられず、つらい思いをしている子どもの気持ちが、素直に描かれている。貧困は、遠い世界ではないと知ってほしい今の子どもたちに必要な一冊。</p> <p>9784751530771 ・ 933</p>
<p>生き抜け! 遭難の五日間</p> 	<p>山口 理(著) 十々夜(絵)</p> <p>文研出版 2022年8月 1,540円</p>	<p>長野県は山岳地帯ですが、登山はあまり身近なレジャーではありません。アウトドアブームの中で、自然や山岳の厳しさ、でもその魅力の両面に触れながら「生きることをあきらめない心」を物語から迫る切迫感と共に感じられる物語です。</p> <p>9784580825215 ・ 913</p>

中学生向け

書名	著者 出版社 発行年 定価(税込)	内容・書評 ページ数・規格・NDC
<p>魔女だったかもしれないわたし</p> 	<p>エル・マクニコル(作) 榎田 理絵(訳) PHP研究所 2022年8月 1,540円</p>	<p>自閉の少年アディは学校の授業で魔女狩りの史実を知る。人どちがうだけで迫害されたその歴史を忘れぬよう村の委員会に慰霊碑の建立を訴える。その中で自分をみつめ、自分を受け入れていく主人公の姿が繊細に描かれている。</p> <p>9784569880648 ・ 933</p>
<p>グレイッシュ</p> 	<p>大島 恵真(著) nakaban(絵) 文研出版 2022年6月 1,650円</p>	<p>主人公のみゆるには悩みがあった。それは家族のこと。父の仕事は収入が不安定。その分は母が補っていた。そして父は母にDVをするように。家族を元通りにしたいみゆるは行動を起こす。みゆるの行動が母の気持ちを動かしていく。</p> <p>9784580825239 ・ 913</p>
<p>風さわぐ北のまちから 少女と家族の引き揚げ回想記</p> 	<p>遠藤みえ子(作) 石井 勉(絵) 佼成出版社 2022年6月 1,760円</p>	<p>11歳のれい子は日本の統治下にあった朝鮮半島に家族と暮らしていたが、日本の敗戦によって、突然「外地」に取り残された状態になってしまう。寒さと飢えと北朝鮮建国の混乱の中、母と6人の子どもたちが、日本へ帰り着くまでを描いた奇跡の実話。</p> <p>9784333028733 ・ 913</p>
<p>マスク越しのおはよう</p> 	<p>山本 悦子(著) 田中 海帆(絵) 講談社 2022年9月 1,760円</p>	<p>5人の中学生に焦点を当てコロナ禍での生活を描いている。マスク依存症、不登校、親子関係、マスク警察、コロナ感染の5つをテーマにし、中学生の不安と葛藤、そして成長が描かれている。共感できる人物が読者にもいるだろう。</p> <p>9784065283677 ・ 913</p>
<p>ぼくたちはまだ出逢っていない</p> 	<p>八束 澄子(著) ポプラ社 2022年10月 1,540円</p>	<p>いじめ被害者の陸、再婚に戸惑う美雨、病弱な樹。三人が伝統工芸の漆と金継ぎをきっかけに深く結びついていく。それぞれが問題を抱えつつも乗り越えていく姿に勇気もらえる作品となっている。</p> <p>9784591174999 ・ 913</p>

学習図書

書名	著者 出版社 発行年 定価(税込)	内容・書評 ISBN・NDC
<p>そうなんだ! しごとのお話</p> 	<p>長田 徹(監修)</p> <p>学研プラス</p> <p>2022年6月</p> <p>990円</p>	<p>「なりたい自分はどんな自分?」という問いかけから始まる本。自分を見つめ、どう生きていくか、めあてを作るきっかけになりそうな本である。「仕事」についてわかりやすく書かれており、読み進めながら、わくわくした気持ちになれる。</p> <p>9784052055034 ・ 366</p>
<p>すごいゴミのはなし ゴミ清掃員、10年間やってみた。</p> 	<p>滝沢秀一(著) スケラッコ、萩原まお(イラスト)</p> <p>学研プラス</p> <p>2022年7月</p> <p>1,430円</p>	<p>現役ゴミ清掃員が、ゴミ回収のエピソードや、いま起きている問題を、現場から楽しく分かりやすく紹介している。身近な「ゴミ」についての裏側を知ることで、自分たちが暮らしていく地球の未来、環境問題についても考えるきっかけになる一冊。</p> <p>9784052055607 ・ 518</p>
<p>すかしてビックリ! 手のしくみ</p> 	<p>イダン・ベン＝バラク(著) ジュリアン・フロスト(著) 宮坂宏美(訳)</p> <p>あすなろ書房</p> <p>2022年9月</p> <p>1,650円</p>	<p>ストーリーに沿って自分の手を置いて、遊びながら「手のしくみ」が分かる、愉快な科学絵本。題名の通り、手をすかしてみると骨・筋肉・神経がリアルに描かれており、ビックリします。自分の手のしくみを説明できるようになりそうな絵本です。</p> <p>9784751531150 ・ 491</p>
<p>屋根のうえのバトンリレー 日本でいちばん南にあるかやぶきの家</p> 	<p>横塚 眞己人(著)</p> <p>ほるぶ出版</p> <p>2022年10月</p> <p>1,760円</p>	<p>自然の恵みを使いながら、150年も前に建てられた西表島にある民家。昔の人の知恵や技術。またそれを大切に受け継いでいこうとする沖縄の人々に触れることができる。そんな人々に触れながら、物を大切にしようという心も育てようである。</p> <p>9784593103089 ・ 383</p>
<p>僕らが学校に行く理由</p> 	<p>渋谷 敦志(著)</p> <p>ポプラ社</p> <p>2022年8月</p> <p>2,420円</p>	<p>当たり前のように学校に通える日本。苦しい情勢の中でも学ぶことをあきらめない世界の子どもの様子を文や写真で知ること、学べることのありがたさ、喜びを感じることができるのではないかと。写真の子どもたちのまなざしが、印象的だ。</p> <p>9784591174234 ・ 367</p>
<p>鳥は恐竜だった 鳥の巣からみた進化の物語</p> <p>鳥は恐竜だった</p> 	<p>鈴木 まもる(著)</p> <p>アリス館</p> <p>2022年7月</p> <p>1,980円</p>	<p>色々な形の鳥の巣を見て、「どうしてこんな形をしているのだろうか?」と抱いた疑問から、恐竜から鳥への進化の不思議にせまる本。話が進む中での疑問を、言葉と丁寧な絵で説明しており、分かりやすく惹きつけられる内容になっている。</p> <p>9784752010159 ・ 488</p>